

第5回大宮区区民会議 会議録

- 1 日 時 平成27年9月18日（金）14時00分～16時00分
- 2 会 場 大宮区役所1階多目的室
- 3 出席者 22名

（委員）16名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長
井上恵美子委員、鶴籠雅之委員、黒澤昭徳委員、齋藤泰雄委員、諏訪淳嗣委員、
高田健委員、田代秀一委員、平間保枝委員、福嶋俊樹委員、星野美子委員、
松岡忠男委員、山本英夫委員、若生和子委員

（オブザーバー）1名

田中（副区長）

（事務局）3名

細田（コミュニティ課長）
池羽、土井（コミュニティ課）

（コンサルタント）2名

森、植田（（株）社会構想研究所）

4 議 事

- （1）開会
- （2）報告事項
①区民会議だよりの発行について
- （3）協議事項
①第7期区民会議協議テーマについて
- （4）連絡事項
- （5）閉会

5 議事内容

第7期区民会議中間発表について

前回決定した「大宮の場を育てる」「駅を核とした歴史と文化 魅力いっぱい
のまちづくり」という2つの協議テーマについて、事前に各委員がおこなった基礎
調査の結果をもとに、班ごとに基礎調査の内容及び調査からわかったことや今後
の課題について協議し、中間発表を行った。

A 班

「大宮の場を育てる」というテーマのもと、基礎調査の結果から各委員の感じている現状の問題点として「人々が集う場（ソフトとハード）が、・点在していてネットワーク化されていない、・縦割りで横の連携が弱い、・関わる人が限られている、・知らない人が多い」という整理がおこなわれた。これを受け、今後の課題として「大宮の魅力を再発見（再評価）し、大宮のよりよい姿を提案する必要がある、これについて恒常的な場を利用して伝えることが必要」であるということが協議の結果として示された。

B 班

「駅を核とした歴史と文化 魅力いっぱいのまちづくり」というテーマのもと、各委員が基礎調査から、様々な目的（氷川神社やアルディージャ等）で大宮を訪れる人はいるが、その人達はその目的以外でまた大宮に来ようと思えていない、大宮の魅力が見えていないのではないかと「大宮のまちが見えない」ということが共通した現状の課題として挙げられた。今後の課題としては「大宮にまた来たいと思えるしかけづくりが必要」であり、具体的な例としては、ITを活用した情報発信や子どもを対象とした取組等が挙げられた。

また、今後の区民会議の進め方について、協議日程等を勘案し、資料3のとおり2年1期としてスケジュールを進めることとした。平成27年10月から平成28年6月までをステップ2としてテーマ①を協議し、平成28年7月から平成29年3月までをステップ3としてテーマ②を協議することとし、本日決まった課題を踏まえ、それぞれのテーマを区民会議全体で協議するという新たなスケジュール案が正副会長案として示され、了承された。

6 連絡事項

区民ふれあいフェアについては、今年度は区民会議としての参加は見合わせる予定だったが、区民ふれあいフェア実行委員会からの要望もあり、DOM1階で実施される「大宮二十景絵画コンクール作品展」と併せて区民会議PRブースを設置することとなった。

次回第6回区民会議は、10月22日（木）午後2時から区役所1階多目的室で開催予定。